



しずかなおはなし

サムイル・マルシャーク ぶん
ウラジミル・レーベデフ え
うちだりさこ やく
福音館書店

レヘテ

はりねずみの家族が、真夜中のお散歩に出かけました。森の鳥やけものたちはぐっすり眠っていましたけれど、二匹のおおかみは目を覚ましています。詩のようにリズムミカルな文章が楽しく、声に出して読みたい絵本です。



せきたんやのくまさん

フィービと
セルビ・ウォーントン さく・え
いしいももこ やく
福音館書店

ウオン

せきたんやのくまさんは、朝早く起きてごはんを食べると、荷馬車に乗って石炭の配達をします。どかん、どかんと石炭袋を投げ込んで、お金をもらっては次の家に向かいます。『くまさん』シリーズは、全部で4冊あります。



たまごにいちゃん

あきやまただし 作・絵
鈴木出版

アキヤ

たまごにいちゃんは、本当はもうたまごから出ていないといけませんが、ずーっとたまごのままです。なぜかって？それは、いつでもおおかさんに暖めてもらえるから。ところがある日、殻を割りたいカラスが近づいてきて……。



だるまちゃんとかみなりちゃん

加古里子 さく・え
福音館書店

カコ

だるまちゃんが遊びに行こうとしたら、雨が降ってきました。傘をさして出かけたなら、へんなものとかみなりちゃんが落ちてきました。かみなりちゃんは、木にひっかかった丸いへんなものを取って欲しいとだるまちゃんに頼みます。どうやって取るのでしょうか。



せんたくかあちゃん

さとうわきこ さく・え
福音館書店

サトウ

かあちゃんは、洗濯が大好き。なんでもかんでも、みんな洗濯してしまいます。ある日、薄汚れたかみなりさまが落ちてきました。かあちゃんは、かみなりさまもごしごし……。大らかなかあちゃんが魅力の絵本です。



ぞうくんのさんぽ

なかのひろたか さく・え
なかのまさたか レタリング
福音館書店

ナカノ

天気の良いある日、ぞうくんは散歩に出かけました。道でかばくんに、次にわにくんに、そしてかめくんに会って、みんなを順番に背中に入れていきますが……。だれかを誘って散歩にでかけたくなる一冊です。



ちいさなねこ

石井桃子 さく
横内襄 え
福音館書店

ヨコウ

ちいさなねこは、お母さんねこが見ていないうちに、ひとり外へ飛び出しました。外には危険がいっぱい！自動車にひかれそうになったり、大きな犬におせんぼされたり、追いかけられたり……。お母さんねこの愛情が感じられる一冊です。



ちいさなヒッポ

マーシャ=ブラウン さく
うちだりさこ やく
偕成社

フラウ

ヒッポはちいさいカバの赤ちゃん。おおかさんの背中が大好きで、いつもそばをはなれません。ヒッポが言葉を覚えるときがきました。大事な言葉、危険を知らせる言葉。ヒッポはうまく言えるでしょうか。



そらいろのたね

なかがわりえこ 文
おおむらゆりこ 絵
福音館書店

オオム

ゆうじは、宝物の模型飛行機をきつねが持っていた「そらいろのたね」と交換します。たねに水をやると、翌朝そらいろの家が生えてきました。家は日に日に大きくなって、たくさん動物たちが集まってきました。



そらまめくんのベッド

なかやみわ さく・え
福音館書店

ナカヤ

そらまめくんの宝物は、ベッド。雲のようにふわふわで、綿のようにやわらかい。でも、自分のベッドをだれにも使わせようとしません。そんなある日、ベッドがなくなっていました。そらまめくんのシリーズは、あと2冊あります。

ちょっとひとやすみ ①

絵本は子どもに読ませるものではなく、大人が読んであげられるものです。絵本は喜びと楽しさを与えてくれます。また、大好きなお母さんやお父さんが読んでくれることが、子どもにはうれしいのです。1冊の絵本をともし、親と子の気持ちが寄り添い、通い合います。絵本の読み聞かせタイムを、**しあわせタイム**にしてください。

